

チーム医療実習

【単位数:0.5単位, 授業16コマ】

1 科目責任者

早稲田勝久 教授(医学教育センター)

科目担当者

森下啓明 准教授(シミュレーションセンター)

2 教育目標

(1) ねらい(I-11-c, I-12-c, I-13-c, I-14-c, I-15-c, II-1-c)

- ① コンピテンスである「プロフェッショナリズム:チーム医療」,「コミュニケーション」を理解するために,チーム医療にその一員として参加し,医師の役割や多職種の役割を体験する。
- ② 保健・医療・福祉・介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し,相互の尊重のもとに適切な行動をとる。

(2) 学修目標

- ① 医療チームを構成する医師・看護師以外の職種を説明できる。
- ② 多職種の活動を通して,チーム医療における医師の果たす役割を説明できる。
- ③ 診療における多職種と医師の連携について考察し説明できる。

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

	成績対象	割合	方法・コメント
レポート	○	60%	事前課題(25%)・事後課題(25%)を評価する。課題の意図にあった内容であること。また体験に基づいた学びや考察を書き表していること。 グループワークでの提出物(10%)
態度	○	40%	2日間の実習の評価。遅刻,身だしなみ,実習参加態度について,実習部署指導者による他者評価を実施する。

出席: 実習を修得するためには,欠席をしてはならない。

(2) 合格基準

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

不合格などで再評価が必要な場合は,教員と面談の上,補習又は課題・レポートを課す。
演習を欠席した場合は,教員と面談の上,補習又は追加レポートを課す。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

評価対象の合計が60%以上で合格とする。

4 教科書

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
指定教科書なし			

5 参考図書

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
元気ホスピタル 最善の医療をめざして	愛知医科大学病院	バリューメディカル2018	本学の診療科，メディカルスタッフ部門を解説している。

6 準備学習（予習・復習）

1日目のガイダンスの際に，実習先の部門・部署について事前学習をするので，関連する資料を集めておく（1日あたり0.5時間）。

7 授業計画

（1） 講義の方法

病院内のメディカルスタッフ部門（パラメディカル部門）に配属され，医療チームの一員としてチーム医療に参加し，医師の役割や他職種の役割を体験する。

（2） 講義の内容

1日目に実習オリエンテーションを施行。2日目から4日目は割り当てられた部署にて実習を行い，チーム医療を体験する。最終日は実習の振り返りを行う。